

宮崎大学 国際化に向けた留学モビリティ促進宣言

宮崎大学は、「世界を視野に、地域からはじめよう」のスローガンを掲げ、地域に根差した課題に取り組みつつ、世界に貢献する研究、教育を追究しています。2025年には宮崎大学未来 Vision for 2040「未来を創る 世界を照らす 宮崎大学」を策定し、本学が所在する宮崎への地域貢献を基盤としつつ、日本の地域課題とも共通する食料、エネルギー、感染症等のグローバル課題の解決に資する研究と人材育成を進めています。また、我々には、世界に開かれ、世界から選ばれる大学として、ダイバーシティーを重要視し、国際性豊かな若い人材を育成、輩出することが求められます。

これらを踏まえ、本学は、未来社会を担う学生の留学モビリティや国際交流を促進し、宮崎、日本、そして世界の持続的発展に貢献することを、ここに宣言します。

1. 目指す姿

日本人学生の海外派遣と外国人留学生受入れの好循環を通じて、両者が世界を視野に相互に切磋琢磨する高度な学修環境（グローバル・キャンパス）を実現し、宮崎や日本、さらには世界の課題解決に貢献できる国際性豊かな人材の育成を目指します。

2. 取組

(1) 日本人学生の国際性涵養

日本人学生が在学中に視野を広げ、異なる背景や価値観を理解し、多様な人と共創する力を培うため、海外留学や国際交流の機会を拡充し、学生の積極的な参加を支援します。

(2) 外国人留学生の受入れ促進

国際交流協定校との戦略的連携の強化や留学生向けプログラムの拡充を通じて、優秀な外国人留学生の受入れを促進します。

(3) キャンパスのグローバル化

・国際交流協定校との教職員や学生による国際的な研究・交流活動を積極的に支援し、実質的な連携強化を図ります。

・キャンパス内で日本人学生と外国人留学生が交流する機会を広げ、異文化理解を深める環境を整備することで、地域社会の国際化にも貢献します。

2025年10月

宮崎大学長 鮫島 浩